

士もあつたをいふに兼て思ひを存す其言ふてはし
と申すつゝ清りりて後由業と申す難きは清りり
候しなり秀吉の若年一人也自ら自業と物何の
所より又武功と賞既して是迄台定家の色紙とせし
おふる法人名は清りり時汝武功と賞既して忠信既
きし事ハも方と名天トノ觸知しとて一と為之思
ハましく清りり事也忠勝護命莫大の御恩答答海あり
も清りり清りりも高し清りり直加と極の事射し示す
と申すしとたひと秀吉の恩と 家康の恩といふに
と申すれを清りり再再身守とて 家康ハ

清りり相傳の主人也君の恩といふと同一と申す上雅
もり清りり忠勝成瀬が名とて不双の忠信とて宣ひを
ハ 源君の法所始なりとて

大坂を所傳は行中將北と清りり

大坂を所傳は今福口の多子傳は行中將より敵一の梅
ともみ清りり二二の梅近急方勝よ秀吉も西は村長門も
重成もくひあり故とて戦ひ二二の梅と近急とて是右
とゆめ梅とゆり直りしとて是より武時 源君依中と
る 上意よ女名の今福合戦近急未傳は一且

